

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	市単独道路改良事業			
予算科目	8 款 2 項 3 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 土木管理課		電話番号(内線): 593	
記入者情報	所属長: 木曾 信之		担当責任者: 小西 洋三	

実施期間	【開始年度】 平成 18 年度 【開始年度】 設定なし
事業の対象	利用者

事業の目的	幹線道路である市道を改良・新設して住民の生活向上に寄与する。
事業の内容	幹線道路である市道の改良・新設
改善策の 具体的 取り組み (当初)	地元要望に対して、危険性・緊急性等の観点から優先順位をつけ、必要性の高い箇所から事業を実施している。また、実施においては二次製品を積極的に使用するなど工法等の検討を行い、コスト削減に努め、事業の執行率向上に取り組んでいる。
改善策の 具体的 取り組み	

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	22,804	54,784	21,659	40,315
	人件費	16,270	15,908	15,908	15,908
	合計	0	70,692	37,567	56,223
人件費 内訳	人工数	2.00	2.00	2.00	2.00
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	16,270	15,908	15,908	15,908
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	39,074	70,692	37,567	56,223

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
旅費	7	7					
委託費	1,228	8,301	1,270	5,000	5,000	5,000	

成果指標				
成果指標	工事実施箇所÷工事要望箇所＝実施率			
指標設定の考え方	地元要望箇所に対する実施箇所の割合を上げることにより、市民生活の向上を図ることになる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	70	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	地元要望に対して、危険性・緊急性等の観点から優先順位をつけ、必要性の高い箇所から事業を実施する。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	26年度に道路改良工事8ヶ所を実施(伊予地区4路線、中山地区2路線、双海地区2路線)した。山間地域では莫大な事業費がかかることから、局部的な改良にとどまり待避所設置型に移行している。今後も本当に必要な路線だけを年間2～3路線程度に絞り込み、計画的に推進していきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題